



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年10月26日

上場会社名 AREホールディングス株式会社
(旧社名：アサヒホールディングス株式会社) 上場取引所 東
コード番号 5857 URL <https://www.asahiholdings.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東浦 知哉
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション (氏名) 柳田 陽子 TEL 03-6270-1833
担当部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年11月17日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	151,896	14.5	6,981	△39.3	7,193	△29.8	5,259	△27.9	5,259	△27.9	15,670	48.9
2023年3月期第2四半期	132,653	37.0	11,493	△16.1	10,241	△24.9	7,293	△24.4	7,293	△24.4	10,523	△28.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	68.62	62.56
2023年3月期第2四半期	93.30	84.63

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	392,324	119,309	119,309	30.4
2023年3月期	287,448	106,957	106,957	37.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2024年3月期	—	45.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	△0.8	19,000	△1.4	18,500	15.2	13,200	20.8	172.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	79,708,688株	2023年3月期	79,708,688株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,065,553株	2023年3月期	3,065,458株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	76,643,173株	2023年3月期2Q	78,173,306株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・ 四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 継続企業の前提に関する注記	11
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	11
1. 報告企業	11
2. 作成の基礎	11
3. 重要性がある会計方針	11
4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断	11
5. セグメント情報	12
6. 後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかな回復基調で推移しましたが、米欧を中心とした金融引き締めや中国経済の変調などが事業環境の先行きを不透明にしています。このような状況の下、当社グループの各事業セグメントの状況は以下のとおりでした。

貴金属事業セグメント

貴金属リサイクル事業において金の販売量が増加し、北米精錬事業の収入が増加したため、売上収益は前年同期比で増加しました。一方、ロジウムおよびパラジウムの価格が下落を続けていることや、電子・触媒関連取引先の在庫調整の影響を受けたことなどにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

環境保全事業セグメント

産業廃棄物の取扱量や処理施設の稼働率は堅調でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴って医療系廃棄物の処理単価が低下したことや、新焼却炉を建設する横浜事業所の既存事業を停止したことなどにより、売上収益および営業利益は前年同期比で減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益151,896百万円（前年同期比19,243百万円増、14.5%増）、営業利益6,981百万円（前年同期比4,511百万円減、39.3%減）、税引前四半期利益7,193百万円（前年同期比3,047百万円減、29.8%減）、四半期利益5,259百万円（前年同期比2,033百万円減、27.9%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益5,259百万円（前年同期比2,033百万円減、27.9%減）となりました。セグメント別の売上収益は、貴金属事業が143,930百万円（前年同期比20,035百万円増、16.2%増）、環境保全事業が8,001百万円（前年同期比756百万円減、8.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は392,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ104,876百万円増加いたしました。これは主に、現金及び現金同等物が5,815百万円、営業債権及びその他の債権が80,204百万円、その他の金融資産（流動）及び金融資産（非流動）が19,699百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は273,015百万円となり、前連結会計年度末に比べ92,523百万円増加いたしました。これは主に、社債及び借入金が85,275百万円増加したことによるものであります。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は119,309百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,352百万円増加いたしました。これは主に、四半期包括利益による増加15,670百万円、剰余金の配当による減少3,448百万円によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は30.4%（前連結会計年度末は37.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益7,193百万円に減価償却費及び償却費1,787百万円を加え、棚卸資産の減少額5,283百万円、営業債権及びその他の債権の増加額60,901百万円、営業債務及びその他の債務等の増加額53,778百万円、法人所得税の支払額1,874百万円、法人所得税の還付額2,134百万円等を加減した結果、10,431百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入2,791百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出1,895百万円、無形資産の取得による支出401百万円、貸付けによる支出13,547百万円等により、13,209百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入14,052百万円、配当金の支払いによる支出3,447百万円等により、10,434百万円の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して5,815百万円増加し、23,767百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年4月27日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を、下記のとおり修正することといたしました。詳細につきましては、本日（2023年10月26日）公表いたしました「2024年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2024年3月期通期連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の 所有者に帰属 する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	250,000	19,000	18,500	13,200	172 23
今回修正予想（B）	290,000	19,000	18,500	13,200	172 23
増減額（B－A）	40,000	—	—	—	—
増減率（%）	16.0	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2023年3月期通期）	292,449	19,263	16,052	10,929	141 19

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,952	23,767
営業債権及びその他の債権	154,046	234,250
棚卸資産	40,854	35,585
未収法人所得税	1,345	34
その他の金融資産	3,609	19,702
その他の流動資産	20,567	24,729
流動資産合計	238,374	338,071
非流動資産		
有形固定資産	42,553	44,624
のれん	1,003	1,003
無形資産	1,255	1,493
繰延税金資産	3,498	2,718
退職給付に係る資産	263	309
金融資産	429	4,034
その他の非流動資産	69	69
非流動資産合計	49,073	54,253
資産合計	287,448	392,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	26,024	27,627
借入金	91,494	157,388
未払法人所得税	210	1,221
その他の金融負債	3,740	6,353
引当金	1,462	1,347
その他の流動負債	2,547	1,400
流動負債合計	125,480	195,338
非流動負債		
社債及び借入金	52,868	72,250
繰延税金負債	275	2,836
退職給付に係る負債	107	121
その他の金融負債	1,704	2,367
その他の非流動負債	53	99
非流動負債合計	55,010	77,676
負債合計	180,491	273,015
資本		
資本金	7,790	7,790
資本剰余金	12,103	12,235
自己株式	△5,925	△5,925
利益剰余金	96,319	98,149
その他の資本の構成要素	△3,330	7,060
親会社の所有者に帰属する持分合計	106,957	119,309
資本合計	106,957	119,309
負債及び資本合計	287,448	392,324

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	132,653	151,896
売上原価	△116,521	△140,413
売上総利益	16,131	11,483
販売費及び一般管理費	△4,005	△4,548
その他の営業収益	68	123
その他の営業費用	△56	△76
持分法による投資損益 (△は損失)	△644	—
営業利益	11,493	6,981
金融収益	965	1,111
金融費用	△1,143	△899
その他の収益	425	—
その他の費用	△1,498	—
税引前四半期利益	10,241	7,193
法人所得税費用	△2,947	△1,933
四半期利益	7,293	5,259
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,293	5,259
非支配持分	—	—
四半期利益	7,293	5,259
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	93.30	68.62
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	84.63	62.56

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	7,293	5,259
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△0	—
確定給付制度の再測定	22	19
持分法によるその他の包括利益	△0	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	22	19
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1,417	7,493
在外営業活動体の換算差額	1,789	2,897
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	3,207	10,390
税引後その他の包括利益	3,230	10,410
四半期包括利益	10,523	15,670
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	10,523	15,670
非支配持分	—	—
四半期包括利益	10,523	15,670

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年4月1日時点の残高	7,790	11,955	△1,819	92,353	△1,390	△3,748
四半期利益	—	—	—	7,293	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1,789	1,417
四半期包括利益合計	—	—	—	7,293	1,789	1,417
自己株式の取得	—	—	△4,106	—	—	—
配当金	—	—	—	△3,538	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	22	—	—
株式に基づく報酬取引	—	77	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	77	△4,106	△3,516	—	—
2022年9月30日時点の残高	7,790	12,033	△5,925	96,130	399	△2,330

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	合計	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年4月1日時点の残高	△3	—	△5,142	105,137	105,137
四半期利益	—	—	—	7,293	7,293
その他の包括利益	△0	22	3,230	3,230	3,230
四半期包括利益合計	△0	22	3,230	10,523	10,523
自己株式の取得	—	—	—	△4,106	△4,106
配当金	—	—	—	△3,538	△3,538
子会社の支配喪失に伴う変動	0	—	0	0	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△22	△22	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	77	77
所有者との取引額合計	0	△22	△22	△7,566	△7,566
2022年9月30日時点の残高	△3	—	△1,934	108,094	108,094

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ
					百万円	百万円
2023年4月1日時点の残高	7,790	12,103	△5,925	96,319	△886	△2,443
四半期利益	—	—	—	5,259	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	2,897	7,493
四半期包括利益合計	—	—	—	5,259	2,897	7,493
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	△3,448	—	—
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替	—	—	—	19	—	—
株式に基づく報酬取引	—	131	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	131	△0	△3,429	—	—
2023年9月30日時点の残高	7,790	12,235	△5,925	98,149	2,010	5,049

親会社の所有者に帰属する持分

その他の資本の構成要素

	確定給付 制度の 再測定	合計	合計	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円
	2023年4月1日時点の残高	—	△3,330	106,957
四半期利益	—	—	5,259	5,259
その他の包括利益	19	10,410	10,410	10,410
四半期包括利益合計	19	10,410	15,670	15,670
自己株式の取得	—	—	△0	△0
配当金	—	—	△3,448	△3,448
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替	△19	△19	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	131	131
所有者との取引額合計	△19	△19	△3,317	△3,317
2023年9月30日時点の残高	—	7,060	119,309	119,309

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	10,241	7,193
減価償却費及び償却費	1,601	1,787
減損損失	0	—
金融収益及び金融費用	2,684	2,019
その他の収益及び費用	△425	—
持分法による投資損益 (△は益)	644	—
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,003	5,283
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	34,808	△60,901
営業債務及びその他の債務等の増減額 (△は減少)	△34,287	53,778
その他	△4,849	740
小計	4,415	9,901
利息及び配当金の受取額	170	318
利息の支払額	△58	△47
法人所得税の支払額	△4,199	△1,874
法人所得税の還付額	4,146	2,134
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,474	10,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100	△104
定期預金の払戻による収入	50	2,791
有形固定資産の取得による支出	△2,202	△1,895
有形固定資産の売却による収入	17	45
無形資産の取得による支出	△277	△401
貸付けによる支出	—	△13,547
子会社及び関連会社の売却による収入	1,371	—
その他	1,187	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	46	△13,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,727	0
長期借入れによる収入	—	14,052
自己株式の取得による支出	△4,106	△0
配当金の支払額	△3,543	△3,447
その他	△178	△170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,100	10,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,595	△1,840
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,016	5,815
現金及び現金同等物の期首残高	6,127	17,952
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,143	23,767

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

1. 報告企業

A R Eホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は日本に所在する企業であります。2023年9月30日に終了する6ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社（以下「当社グループ」という。）により構成されております。

当社グループの主要な活動については、注記「5. セグメント情報」をご参照下さい。

なお、当社は2023年7月1日付でアサヒホールディングス株式会社からA R Eホールディングス株式会社へ商号変更しております。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

当社グループは、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第93条の規定を適用しております。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 重要性がある会計方針

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、要約四半期連結財務諸表における法人所得税は、年間の見積実効税率に基づいて算定しております。

4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられております。実際の結果は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直されます。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識されます。

要約四半期連結財務諸表に重要な影響を与える会計上の判断、見積り及び仮定は、前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

5. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は純粋持株会社としてグループ全体の戦略機能を担い、各事業会社は貴金属・希少金属等のリサイクル及び精錬・加工事業、産業廃棄物処理その他の環境保全事業に従事しております。

したがって、当社グループは、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「貴金属事業」及び「環境保全事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、事業セグメントの集約は行っておりません。

「貴金属事業」は、貴金属含有スクラップ等から、金・銀・パラジウム・プラチナ等の貴金属・希少金属をリサイクルし販売する事業及び金・銀を中心とした貴金属の精錬・加工事業を主たる業務としております。

「環境保全事業」は、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理を主たる業務としております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の会社組織変更および業績管理区分の見直しに伴い、従来「調整額」に計上していた全社費用を「貴金属」および「環境保全」の区分に配分のうえ計上しております。

なお、前第2四半期連結結果計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告セグメントの会計方針は、注記「3. 重要性がある会計方針」で記載している当社グループの会計方針と同じであります。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

前第2四半期連結結果計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結
	貴金属	環境保全	計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益							
外部収益	123,895	8,757	132,653	0	132,653	—	132,653
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—
合計	123,895	8,757	132,653	0	132,653	—	132,653
セグメント利益（営業利益）	10,502	1,711	12,213	△720	11,493	—	11,493
金融収益							965
金融費用							△1,143
その他の収益							425
その他の費用							△1,498
税引前四半期利益							10,241

当第2四半期連結結果計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結
	貴金属	環境保全	計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益							
外部収益	143,930	7,952	151,883	13	151,896	—	151,896
セグメント間収益	—	49	49	—	49	△49	—
合計	143,930	8,001	151,932	13	151,945	△49	151,896
セグメント利益（営業利益）	6,064	1,097	7,161	△179	6,981	—	6,981
金融収益							1,111
金融費用							△899
税引前四半期利益							7,193

6. 後発事象

該当事項はありません。